

2020年度

授業概要

科目名	作業療法特論 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必須	配当学年 時期
							3年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床現場の実践を学ぶ							
【実務者経験】 作業療法士として公立社総合病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘にて身体障害領域の急性期から回復期までのリハビリテーションの従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 各臨床現場の状況や作業療法士の実践について講義や演習を行う							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 幅広い作業療法士の実践現場を知り、臨床実習に役立たせることができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	地域における回復期リハビリテーションでの作業療法士の実践						
2	地域における回復期リハビリテーションでの作業療法士の実践						
3	臨床現場でのCI療法の実践						
4	臨床現場でのCI療法の実践						
5	「その人らしさ」を支援する作業療法実践						
6	「その人らしさ」を支援する作業療法実践						
7	認知症の方への作業療法士の実践						
8	認知症の方への作業療法士の実践						
9	地域リハビリテーションにおける作業療法士の実践						
10	地域リハビリテーションにおける作業療法士の実践						
11	精神科における作業療法士の実践						
12	精神科における作業療法士の実践						
13	手のリハビリテーションにおける作業療法士の実践						
14	手のリハビリテーションにおける作業療法士の実践						
15	まとめ						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】							
【準備学習・時間外学習】							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】							
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題を50点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							